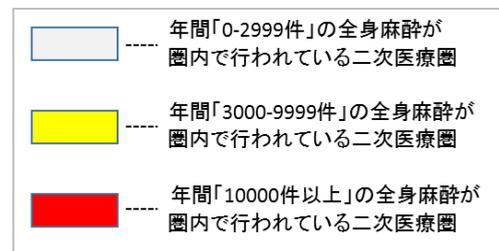
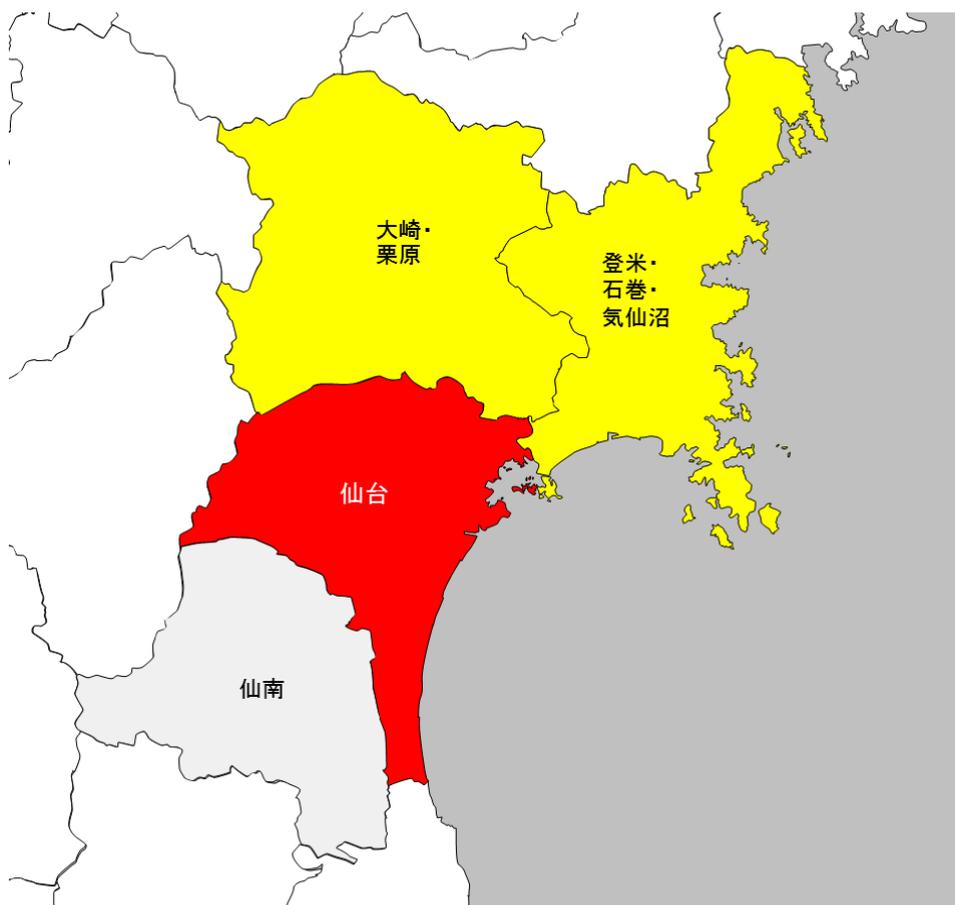


4. 宮城県



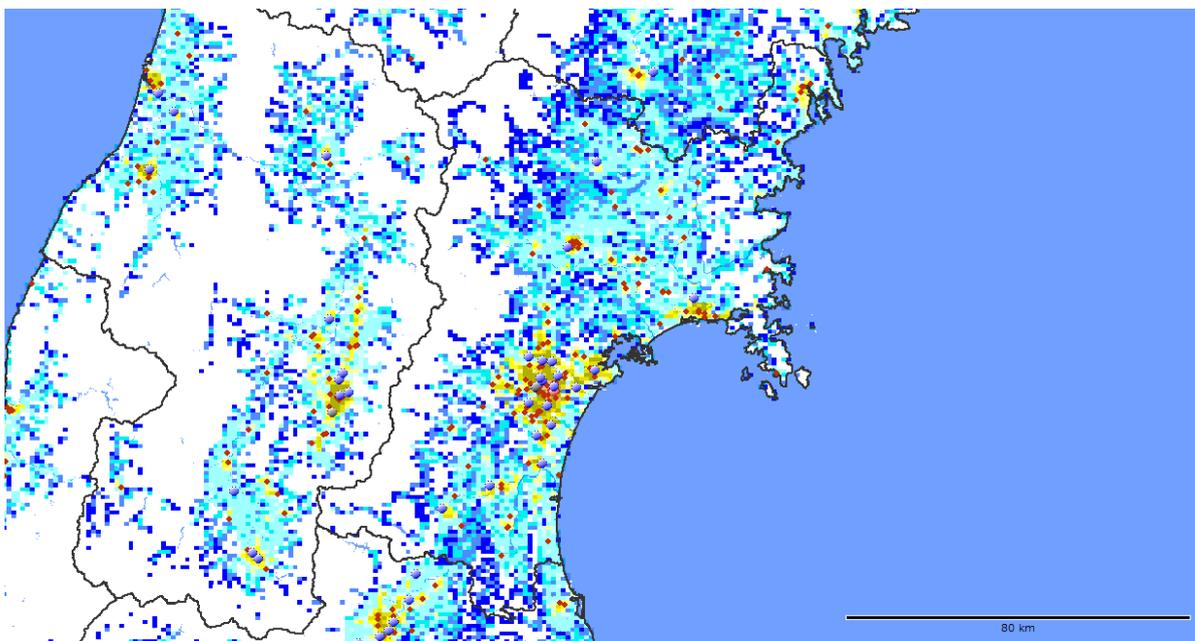
4.宮城県(2017年版)

目次

宮城県	4 -	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	4 -	8
1. 仙南医療圏	4 -	20
2. 仙台医療圏	4 -	25
3. 大崎・栗原医療圏	4 -	30
4. 石巻・登米・気仙沼医療圏	4 -	35

4. 宮城県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宮城県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宮城県は、総人口約2334千人(2015年)、面積7282km²、人口密度は320人/km²である。

***人口の将来予測：** 宮城県の総人口は2025年に2210千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1973千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の295千人が、2025年にかけて385千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には429千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宮城県の一人当たり医療費(国保)は349千円(偏差値51)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宮城県の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宮城県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、27165人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17468床(偏差値48)、高齢者住宅等が9697床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、22348人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム43、軽費ホーム50、グループホーム52、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、3450人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮城県の総人口は、2005年2360218人が、2015年に2333899人と1%減少し、2025年の人口が2210121人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

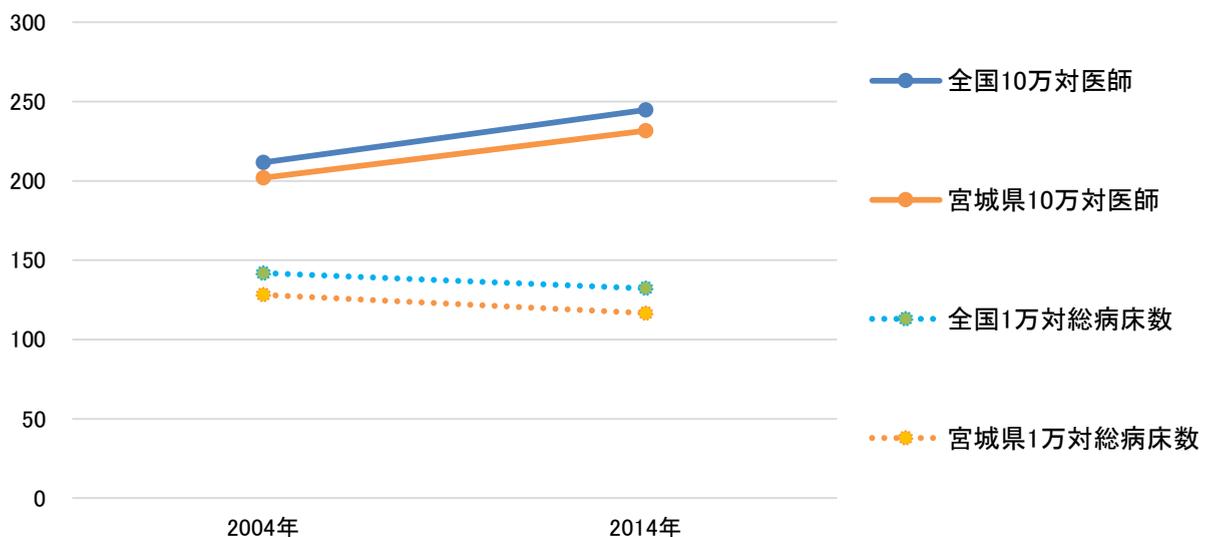
2004年の病院数が150(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に142(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1551(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に1626(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、75診療所が増加した。

2004年の総病床数が30258床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に27210床(人口1万人当たり117(全国平均132)偏差値47)と、3048床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

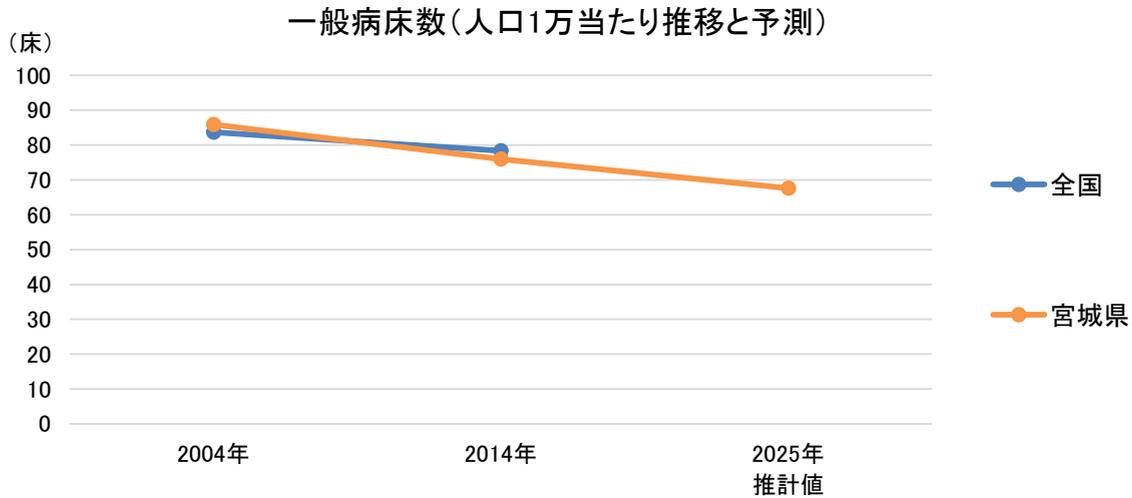
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4765人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に5407人(人口10万人当たり232人(全国平均245人)偏差値49)と、642人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



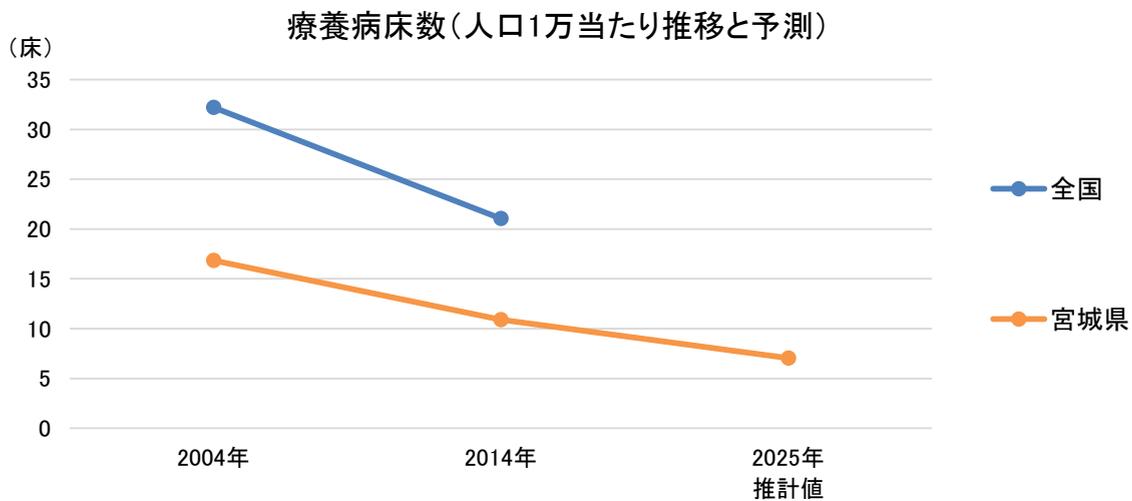
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が20272床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に17733床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、2539床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14940床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



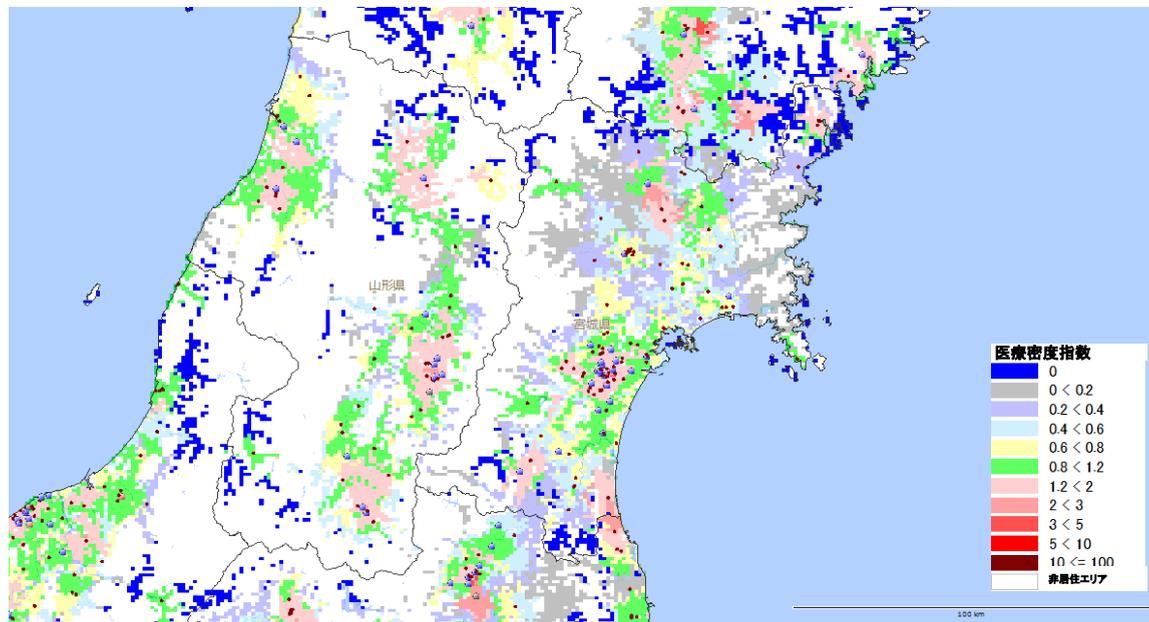
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3670床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に3212床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、458床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2709床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



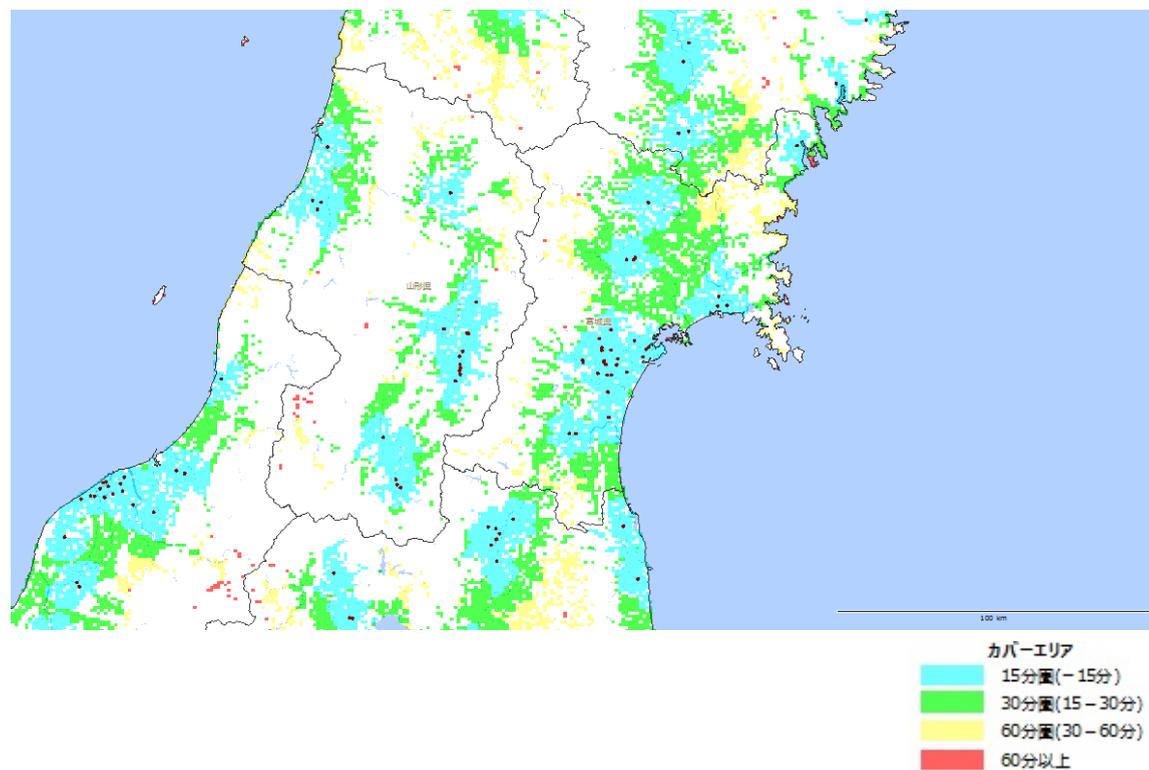
(宮城県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表4-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



4.宮城県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 4-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
宮城県	2,334	14位	7,282	16位	320.5		25%	2,210	1,973	295	385	429	-5%	-11%	31%	11%
仙南	177	8%	1,551	21%	114.2	過疎地域型	30%	160	133	28	33	34	-10%	-17%	18%	3%
仙台	1,529	66%	1,649	23%	927.0	大都市型	22%	1,488	1,386	162	238	283	-3%	-7%	47%	19%
大崎・栗原	276	12%	2,329	32%	118.4	地方都市型	31%	242	197	47	48	49	-12%	-19%	2%	2%
石巻・登米・気仙沼	352	15%	1,753	24%	201.0	地方都市型	31%	321	257	58	66	64	-9%	-20%	14%	-3%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 4-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
宮城県	1.00	0.51	23,847	31,310	-31.3%
仙南	0.81	0.52	2,402	2,692	-12.1%
仙台	1.23	0.43	13,580	19,366	-42.6%
大崎・栗原	0.54	0.90	3,535	3,902	-10.4%
石巻・登米・気仙沼	0.58	0.56	4,330	5,350	-23.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 4-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
				偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差			
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
宮城県	349	51	1.013	128	49	0.976	198	55	1.049	252	50
仙南	364	55	1.008	141	54	1.025	201	57	1.014	238	46
仙台	345	50	1.015	125	48	0.970	195	54	1.048	244	48
大崎・栗原	349	51	0.993	127	49	0.944	203	58	1.053	284	59
石巻・登米・気仙沼	357	53	1.020	132	51	0.993	203	58	1.063	261	52
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表04-35を参照。

資_図表 4-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮城県	141	1.7%	6.0	48	1,646	1.6%	71	45
仙南	13	9%	7.3	52	114	7%	64	42
仙台	81	57%	5.3	47	1,155	70%	76	48
大崎・栗原	26	18%	9.4	57	167	10%	61	40
石巻・登米・気仙沼	21	15%	6.0	48	210	13%	60	39
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月							

資_図表 4-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数			有床 診療所数				
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
宮城県	1,646	1.6%	71	45	1,505	1.6%	64	45	141	1.8%	6.0	50
仙南	114	7%	64	42	103	7%	58	42	11	8%	6.2	50
仙台	1,155	70%	76	48	1,061	70%	69	48	94	67%	6.1	50
大崎・栗原	167	10%	61	40	148	10%	54	39	19	13%	6.9	51
石巻・登米・気仙沼	210	13%	60	39	193	13%	55	40	17	12%	4.8	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月											

4.宮城県(2017年版)

資_図表 4-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
宮城県	25,226	1.6%	1,081	47	1,814	1.7%	78	49	27,040	1.6%	1,159	47
仙南	1,934	8%	1,091	47	115	6%	65	48	2,049	8%	1,156	47
仙台	16,559	66%	1,083	47	1,226	68%	80	50	17,785	66%	1,164	47
大崎・栗原	3,112	12%	1,128	48	248	14%	90	51	3,360	12%	1,218	48
石巻・登米・気仙沼	3,621	14%	1,028	46	225	12%	64	48	3,846	14%	1,091	46
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 4-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
宮城県	15,799	1.8%	677	49	3,128	1.0%	134	44	6,209	1.8%	266	50
仙南	929	6%	524	42	392	13%	221	48	605	10%	341	54
仙台	11,187	71%	732	51	1,496	48%	98	42	3,866	62%	253	49
大崎・栗原	1,558	10%	565	44	798	26%	289	51	692	11%	251	49
石巻・登米・気仙沼	2,125	13%	603	46	442	14%	125	44	1,046	17%	297	51
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 4-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
宮城県	939	1.3%	40	46	905	1.5%	39	47
仙南	94	10%	53	49	97	11%	55	49
仙台	611	65%	40	46	674	74%	44	47
大崎・栗原	40	4%	15	41	71	8%	26	44
石巻・登米・気仙沼	194	21%	55	49	63	7%	18	43
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 4-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
宮城県	11,687	10,521	658	13,652	5,409	2,458	66.0%	56	21.1%	55
仙南	815	724	83	1,121	215	301	77.1%	60	21.6%	55
仙台	7,660	7,000	228	8,824	4,118	1,264	63.0%	54	15.3%	53
大崎・栗原	1,389	1,020	305	1,723	538	493	65.5%	55	38.2%	63
石巻・登米・気仙沼	1,823	1,777	42	1,984	538	400	76.8%	60	9.5%	50
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 4-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
宮城県	49,428	1.8%	2,118	49	18,852	1.8%	808	50
仙南	1,824	4%	1,029	38	1,188	6%	670	45
仙台	39,600	80%	2,591	54	12,972	69%	849	52
大崎・栗原	3,480	7%	1,262	41	2,400	13%	870	52
石巻・登米・気仙沼	4,524	9%	1,284	41	2,292	12%	650	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 4-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
宮城県	5,471	1.6%	234	46	3,320	1.5%	142	46	2,151	1.6%	92	47
仙南	325	6%	184	40	196	6%	110	41	130	6%	73	40
仙台	3,982	73%	261	49	2,438	73%	159	49	1,544	72%	101	49
大崎・栗原	552	10%	200	42	358	11%	130	44	194	9%	70	39
石巻・登米・気仙沼	612	11%	174	39	328	10%	93	38	283	13%	80	43
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

4.宮城県(2017年版)

資_図表 4-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
宮城県	219	1.4%	9.4	45	187	1.5%	8.0	46	199	1.9%	8.5	51
仙南	16	7%	9.0	45	8	4%	4.5	38	9	5%	5.1	42
仙台	170	78%	11.1	48	157	84%	10.3	51	166	83%	10.9	57
大崎・栗原	22	10%	8.0	43	5	3%	1.8	32	10	5%	3.6	38
石巻・登米・気仙沼	11	5%	3.1	36	17	9%	4.8	39	14	7%	4.0	39
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 4-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
宮城県	85	1.6%	3.6	48	147	1.6%	6.3	46	128	1.7%	5.5	48
仙南	2	2%	1.1	35	7	5%	4.0	39	8	6%	4.5	45
仙台	66	78%	4.3	51	116	79%	7.6	51	104	81%	6.8	54
大崎・栗原	5	6%	1.8	39	13	9%	4.7	41	7	5%	2.5	37
石巻・登米・気仙沼	12	14%	3.4	46	11	7%	3.1	36	9	7%	2.6	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 4-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
宮城県	142	1.7%	6.1	49	402	2.0%	17.2	52	249	1.6%	10.7	47
仙南	3	2%	1.7	36	19	5%	10.7	42	9	4%	5.1	34
仙台	111	78%	7.3	52	310	77%	20.3	56	195	78%	12.8	52
大崎・栗原	12	8%	4.4	44	34	8%	12.3	45	25	10%	9.1	43
石巻・登米・気仙沼	16	11%	4.5	44	39	10%	11.1	43	20	8%	5.7	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 4-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
宮城県	95	1.7%	4.1	48	103	1.6%	4.4	47	80	1.5%	3.4	47
仙南	6	6%	3.4	45	3	3%	1.7	36	1	1%	0.6	38
仙台	66	69%	4.3	49	78	76%	5.1	50	71	89%	4.6	52
大崎・栗原	9	9%	3.3	44	7	7%	2.5	39	4	5%	1.5	41
石巻・登米・気仙沼	14	15%	4.0	47	15	15%	4.3	47	4	5%	1.1	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 4-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
宮城県	105	1.6%	4.5	48	31	2.0%	1.3	51	50	1.5%	2.1	47
仙南	5	5%	2.8	42	2	6%	1.1	49	6	12%	3.4	55
仙台	88	84%	5.8	52	25	81%	1.6	55	36	72%	2.4	49
大崎・栗原	7	7%	2.5	41	2	6%	0.7	45	6	12%	2.2	48
石巻・登米・気仙沼	5	5%	1.4	38	2	6%	0.6	43	2	4%	0.6	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 4-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
宮城県	34	1.7%	1.5	49	53	2.2%	2.3	53
仙南	1	3%	0.6	41	2	4%	1.1	44
仙台	30	88%	2.0	53	44	83%	2.9	58
大崎・栗原	1	3%	0.4	40	6	11%	2.2	52
石巻・登米・気仙沼	2	6%	0.6	42	1	2%	0.3	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

4.宮城県(2017年版)

資_図表 4-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
宮城県	18,546	1.7%	795	47	15,018	1.6%	643	47	3,529	1.8%	151	49
仙南	1,103	6%	622	41	900	6%	508	41	203	6%	115	44
仙台	12,863	69%	842	49	10,353	69%	677	48	2,510	71%	164	51
大崎・栗原	2,072	11%	751	46	1,761	12%	638	47	311	9%	113	44
石巻・登米・気仙沼	2,509	14%	712	44	2,005	13%	569	44	505	14%	143	48
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 4-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
宮城県	1,695	1.3%	73	45	5,028	1.7%	215	49
仙南	106	6%	60	43	277	6%	156	42
仙台	1,156	68%	76	46	3,808	76%	249	52
大崎・栗原	144	8%	52	41	451	9%	164	43
石巻・登米・気仙沼	290	17%	82	47	492	10%	140	40
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 4-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
宮城県	99	0.7%	0.3	39	23	1.9%	0.1	50	139	1.3%	0.5	41
仙南	4	4%	0.1	34	4	17%	0.1	61	8	6%	0.3	32
仙台	63	64%	0.4	40	12	52%	0.1	50	93	67%	0.6	47
大崎・栗原	14	14%	0.3	38	4	17%	0.1	52	18	13%	0.4	37
石巻・登米・気仙沼	18	18%	0.3	38	3	13%	0.1	46	20	14%	0.3	35
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 4-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
宮城県	27,165	1.6%	92	43	17,468	1.8%	59	48	9,697	1.4%	33	44
仙南	2,543	9%	90	42	2,022	12%	71	58	521	5%	18	35
仙台	15,754	58%	97	46	9,198	53%	57	46	6,556	68%	41	49
大崎・栗原	4,064	15%	86	40	2,751	16%	58	47	1,313	14%	28	41
石巻・登米・気仙沼	4,804	18%	83	38	3,497	20%	61	49	1,307	13%	23	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 4-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
宮城県	7,971	2.2%	27	58	9,270	1.6%	31	46	227	0.4%	0.8	42
仙南	901	11%	32	66	1,065	11%	38	53	56	25%	2.0	45
仙台	4,133	52%	26	55	4,998	54%	31	46	67	30%	0.4	41
大崎・栗原	1,186	15%	25	54	1,461	16%	31	46	104	46%	2.2	46
石巻・登米・気仙沼	1,751	22%	30	63	1,746	19%	30	45	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 4-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
宮城県	1,852	0.8%	6.3	43	412	1.8%	1.4	50	3,927	2.0%	13.3	52
仙南	17	1%	0.6	37	0	0%	0	43	363	9%	12.8	51
仙台	1,835	99%	11.4	47	272	66%	1.7	51	2,135	54%	13.2	52
大崎・栗原	0	0%	0	37	90	22%	1.9	52	694	18%	14.7	54
石巻・登米・気仙沼	0	0%	0	37	50	12%	0.9	47	735	19%	12.7	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

4.宮城県(2017年版)

資_図表 4-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
宮城県	3,506	1.5%	11.9	46	188	1.2%	0.6	48	3,318	1.5%	11.3	47
仙南	141	4%	5.0	37	0	0%	0	44	141	4%	5.0	37
仙台	2,314	66%	14.3	50	140	74%	0.9	49	2,174	66%	13.4	50
大崎・栗原	529	15%	11.2	46	0	0%	0	44	529	16%	11.2	47
石巻・登米・気仙沼	522	15%	9.0	42	48	26%	0.8	49	474	14%	8.2	42
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 4-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
宮城県	2,403	1.5%	8.2	41	1,737	1.5%	5.9	43	666	1.4%	2.3	44
仙南	206	9%	7.3	37	176	10%	6.2	44	30	5%	1.1	31
仙台	1,423	59%	8.8	44	971	56%	6.0	43	452	68%	2.8	49
大崎・栗原	351	15%	7.4	38	274	16%	5.8	42	77	12%	1.6	37
石巻・登米・気仙沼	423	18%	7.3	38	316	18%	5.5	41	108	16%	1.9	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 4-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
宮城県	25,797	1.8%	88	48	22,348	1.8%	76	49	3,450	1.5%	11.7	46
仙南	2,368	9%	84	45	2,148	10%	76	50	220	6%	7.8	39
仙台	14,581	57%	90	50	12,247	55%	76	49	2,335	68%	14.4	51
大崎・栗原	4,096	16%	87	47	3,657	16%	78	51	440	13%	9.3	42
石巻・登米・気仙沼	4,751	18%	82	44	4,296	19%	74	48	455	13%	7.9	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 4-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
宮城県	16,357	1.5%	55	47	7,146	1.6%	24	47	20,644	1.4%	70	43
仙南	558	3%	20	35	239	3%	8	34	1,134	5%	40	34
仙台	11,944	73%	74	52	3,811	53%	24	46	13,922	67%	86	48
大崎・栗原	1,380	8%	29	38	1,033	14%	22	45	2,607	13%	55	39
石巻・登米・気仙沼	2,475	15%	43	43	2,063	29%	36	57	2,981	14%	52	37
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 4-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
宮城県		2,360,218	2,333,899	-1%	2,210,121	-6%	9%	7%	16%
仙南	過疎地域型	191,139	177,192	-7%	159,606	-16%	3%	0%	3%
仙台	大都市型	1,463,279	1,528,508	4%	1,487,516	2%	15%	12%	30%
大崎・栗原	地方都市型	298,546	275,831	-8%	242,465	-19%	1%	-4%	-3%
石巻・登米・気仙沼	地方都市型	407,254	352,368	-13%	320,534	-21%	-4%	0%	-4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 4-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
宮城県	150	6.4	48	142	6.1	49	-8	-5%	133
仙南	14	7.3	51	13	7.3	52	-1	-7%	12
仙台	82	5.6	46	82	5.4	47	0	0%	82
大崎・栗原	27	9.0	55	26	9.4	57	-1	-4%	25
石巻・登米・気仙沼	27	6.6	49	21	6.0	48	-6	-22%	14
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

4.宮城県(2017年版)

資_図表 4-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
宮城県	1,551	66	45	1,626	70	45	75	5%	1,708
仙南	116	61	42	109	62	41	-7	-6%	101
仙台	1,051	72	48	1,142	75	48	91	9%	1,242
大崎・栗原	169	57	40	163	59	39	-6	-4%	156
石巻・登米・気仙沼	215	53	38	212	60	40	-3	-1%	209
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 4-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
宮城県	4,765	202	49	5,407	232	49	642	13%	6,113
仙南	239	125	40	262	148	40	23	10%	287
仙台	3,648	249	54	4,173	273	53	525	14%	4,751
大崎・栗原	392	131	40	445	161	41	53	14%	503
石巻・登米・気仙沼	486	119	39	527	150	40	41	8%	572
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 4-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
宮城県	30,258	128	48	27,210	117	47	-3,048	-10%	23,858
仙南	2,214	116	45	2,082	117	47	-132	-6%	1,937
仙台	18,708	128	47	17,854	117	47	-854	-5%	16,915
大崎・栗原	3,879	130	48	3,428	124	49	-451	-12%	2,932
石巻・登米・気仙沼	5,457	134	49	3,846	109	46	-1,611	-30%	2,074
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 4-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
宮城県	20,272	86	51	17,733	76	49	-2,539	-13%	14,940	68
仙南	1,262	66	44	1,081	61	44	-181	-14%	882	55
仙台	13,174	90	52	12,437	81	51	-737	-6%	11,626	78
大崎・栗原	2,168	73	46	1,874	68	46	-294	-14%	1,551	64
石巻・登米・気仙沼	3,668	90	52	2,341	66	46	-1,327	-36%	881	27
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 4-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
宮城県	3,670	17	41	3,212	11	41	-458	-12%	2,709	7
仙南	252	11	38	388	14	44	136	54%	538	16
仙台	1,927	18	42	1,575	10	40	-352	-18%	1,188	5
大崎・栗原	939	24	46	798	17	46	-141	-15%	643	13
石巻・登米・気仙沼	552	11	38	451	8	39	-101	-18%	340	5
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

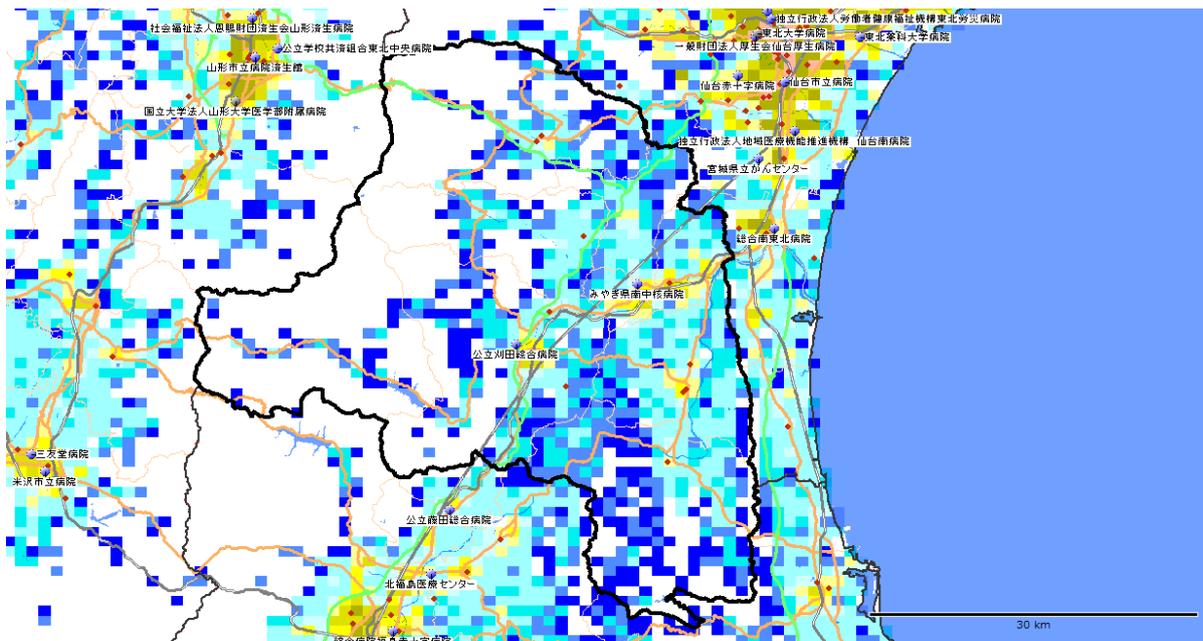
資_図表 4-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
宮城県	829	42	0.894	371	41	0.810	430	47	0.984
仙南	813	40	0.866	390	43	0.831	400	40	0.913
仙台	873	45	0.944	390	43	0.858	450	52	1.028
大崎・栗原	772	37	0.832	334	37	0.724	417	44	0.960
石巻・登米・気仙沼	766	36	0.828	341	38	0.745	403	41	0.926
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

4-1. せんなん 仙南医療圏

構成市区町村⁹ [白石市](#) [角田市](#) [蔵王町](#) [七ヶ宿町](#)
[大河原町](#) [村田町](#) [柴田町](#) [川崎町](#)
[丸森町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(仙南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 仙南(白石市)は、総人口約177千人(2015年)、面積1551km²、人口密度は114人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 仙南の総人口は2025年に160千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に133千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 仙南の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値55)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 仙南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.52で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。仙南には、年間全身麻酔件数が1000例以上のみやぎ県南中核病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 仙南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2543人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2022床(偏差値58)、高齢者住宅等が521床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2148人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、220人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(仙南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

仙南医療圏の総人口は、2005年191139人が、2015年に177192人と7%減少し、2025年の人口が159606人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

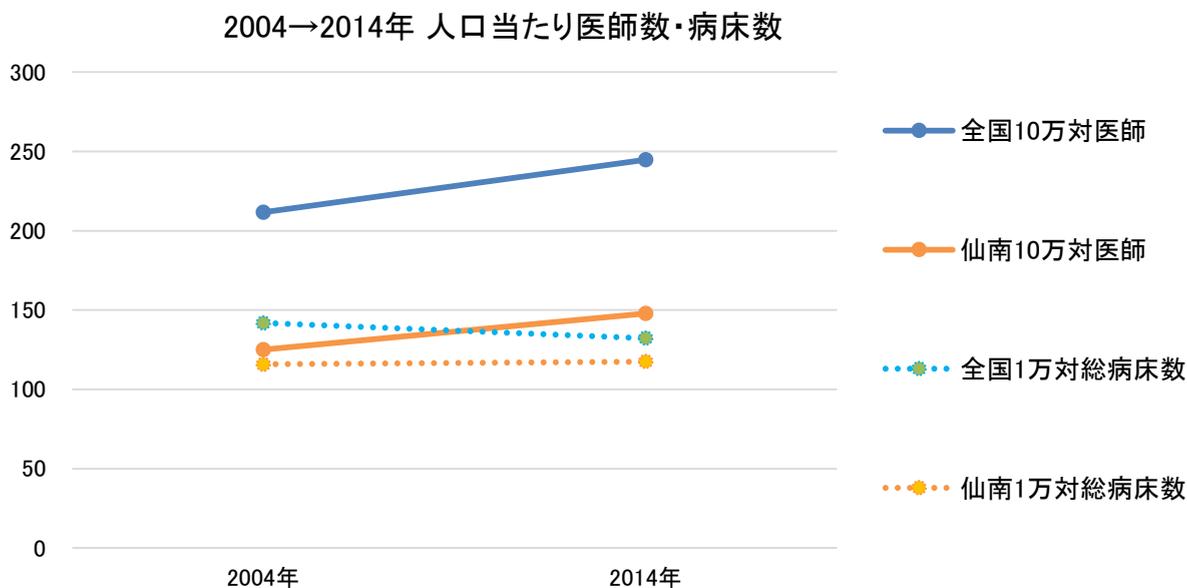
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に13(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が116(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に109(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、7診療所が減少した。

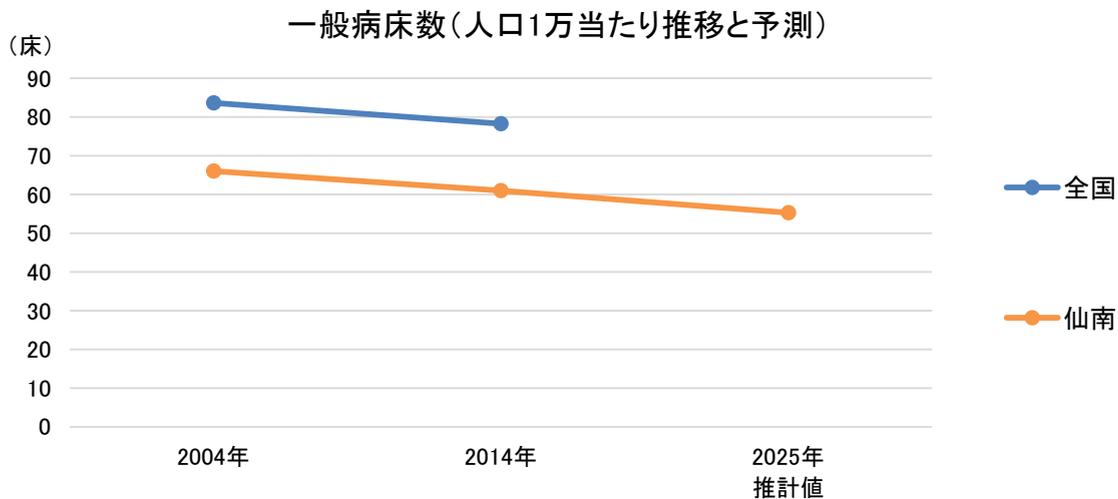
2004年の総病床数が2214床(人口1万人当たり116(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に2082床(人口1万人当たり117(全国平均132)偏差値47)と、132床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が239人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に262人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、23人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



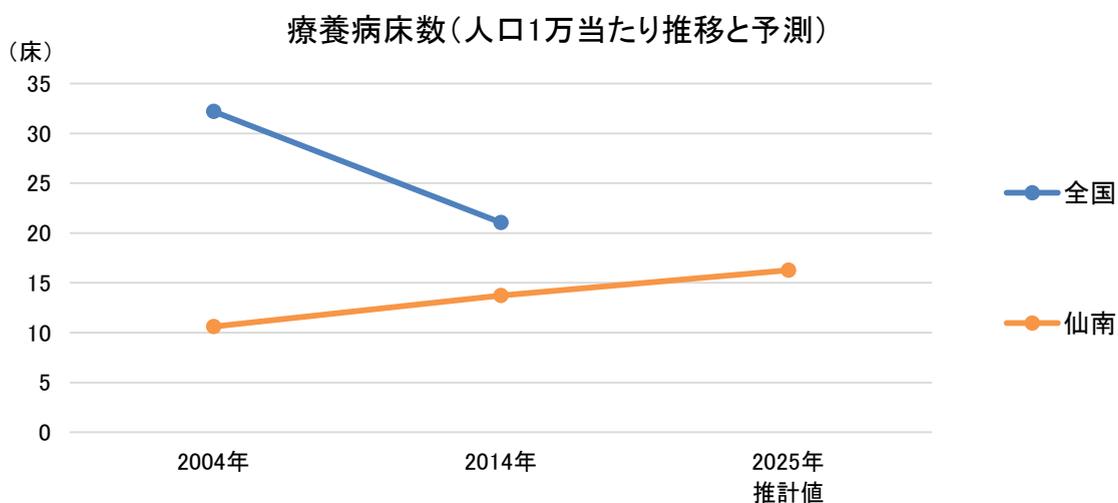
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1262床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に1081床(人口1万人当たり61(全国平均78)偏差値44)と、181床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には882床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



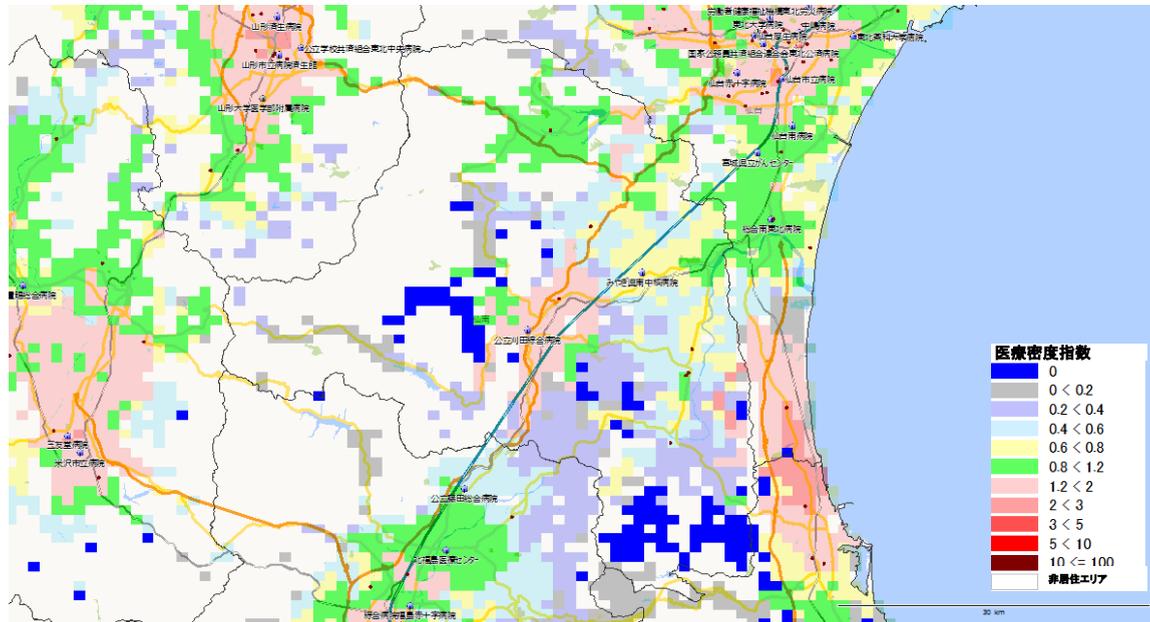
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が252床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に388床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、136床の増加、率にして54%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には538床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



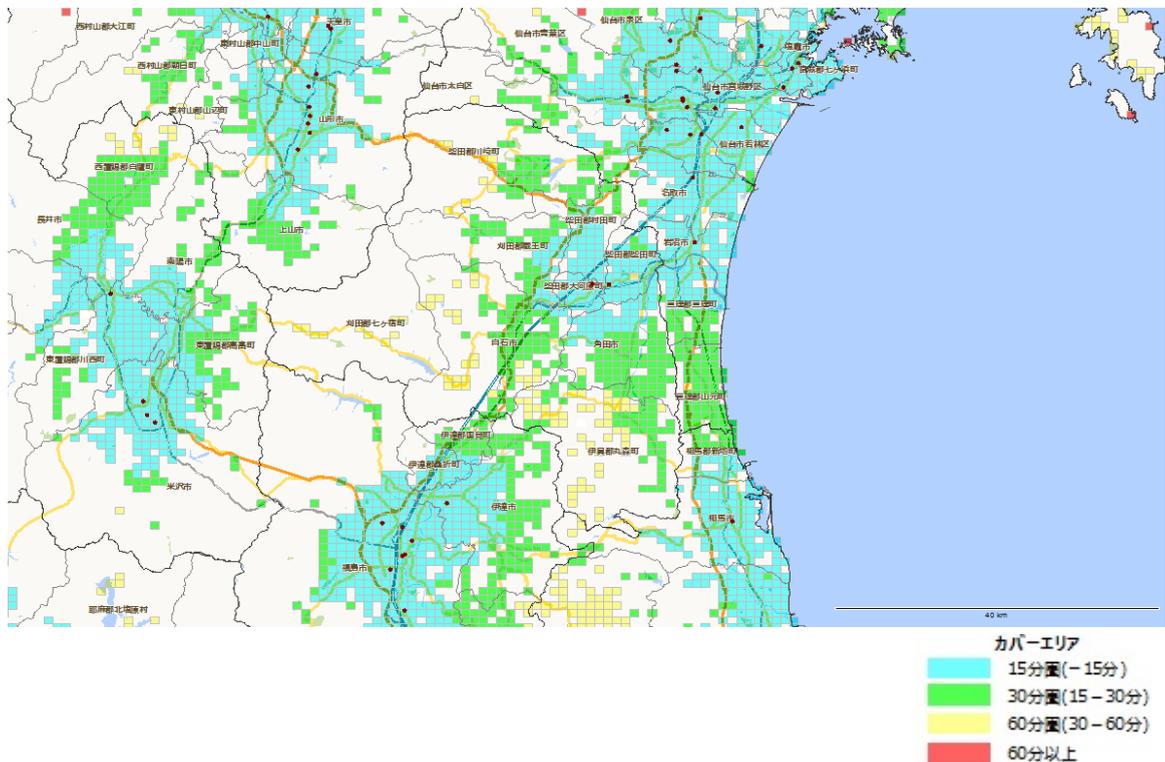
(仙南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表4-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

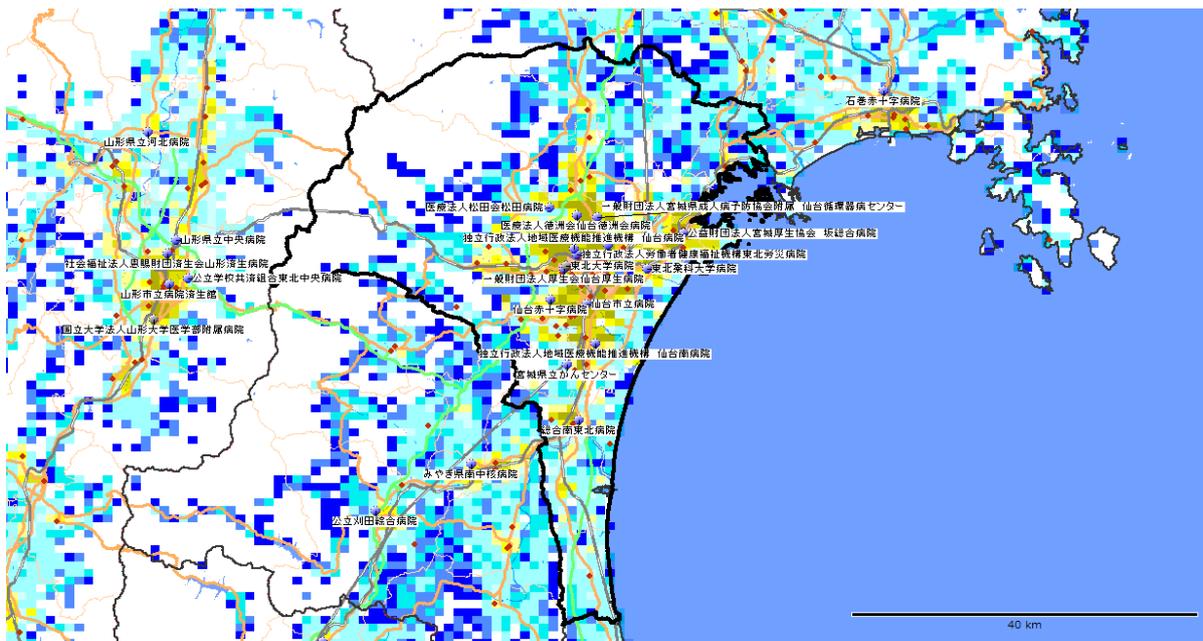
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



4-2. 仙台医療圏

- 構成市区町村⁹
- | | | | |
|------|------|-----|------|
| 青葉区 | 宮城野区 | 若林区 | 太白区 |
| 泉区 | 塩竈市 | 名取市 | 多賀城市 |
| 岩沼市 | 亘理町 | 山元町 | 松島町 |
| 七ヶ浜町 | 利府町 | 大和町 | 大郷町 |
| 富谷町 | 大衡村 | | |

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群
- 一般病院

(仙台医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 仙台(仙台市青葉区)は、総人口約1529千人(2015年)、面積1649km²、人口密度は927人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 仙台の総人口は2025年に1488千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1386千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の162千人が、2025年にかけて238千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には283千人へと増加する(2025年比+19%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 仙台の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値50)、介護給付費は244千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 仙台の一人当たり急性期医療密度指数²は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.43で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。仙台には、年間全身麻酔件数が2000例以上の仙台市立病院(Ⅲ群・救命)、東北労災病院(Ⅲ群)、東北公済病院(Ⅲ群)、国立病院機構仙台医療センター(Ⅱ群・救命)、東北大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の仙台赤十字病院(Ⅲ群)、東北薬科大学病院(Ⅰ群)、仙台オープン病院(Ⅲ群)、JCHO仙台病院(Ⅲ群)、仙台厚生病院(Ⅲ群)、宮城県立がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の宮城県立こども病院(Ⅲ群)、総合南東北病院(Ⅲ群)、坂総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 仙台の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15754人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9198床(偏差値46)、高齢者住宅等が6556床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12247人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム47、軽費ホーム51、グループホーム52、サ高住50である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2335人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-43%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(仙台医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

仙台医療圏の総人口は、2005年1463279人が、2015年に1528508人と4%増加し、2025年の人口が1487516人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

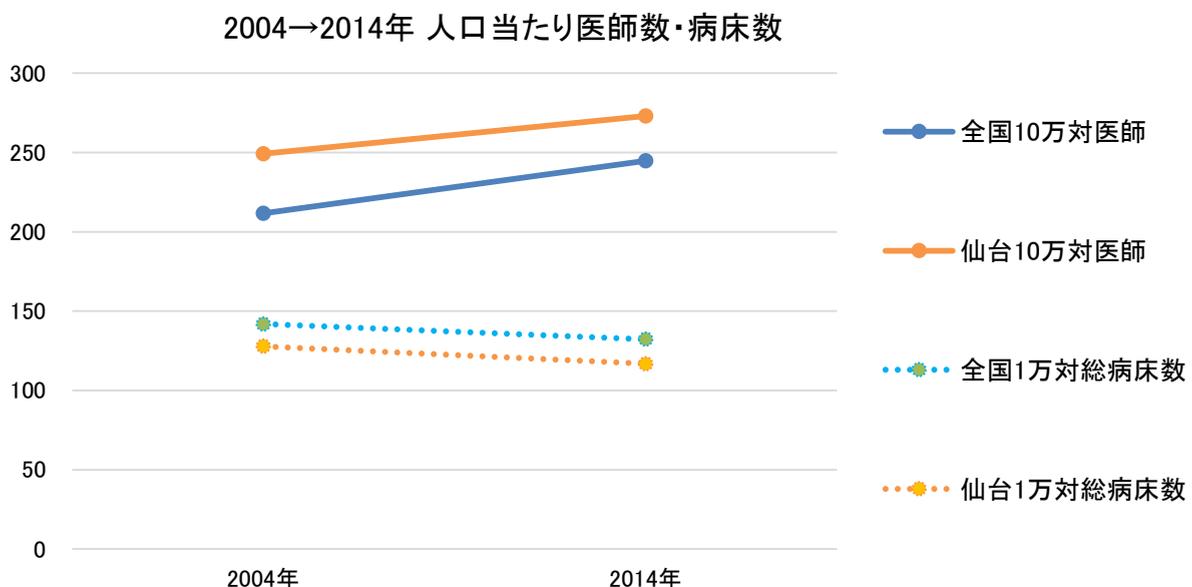
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が82(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に82(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が1051(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に1142(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、91診療所が増加した。

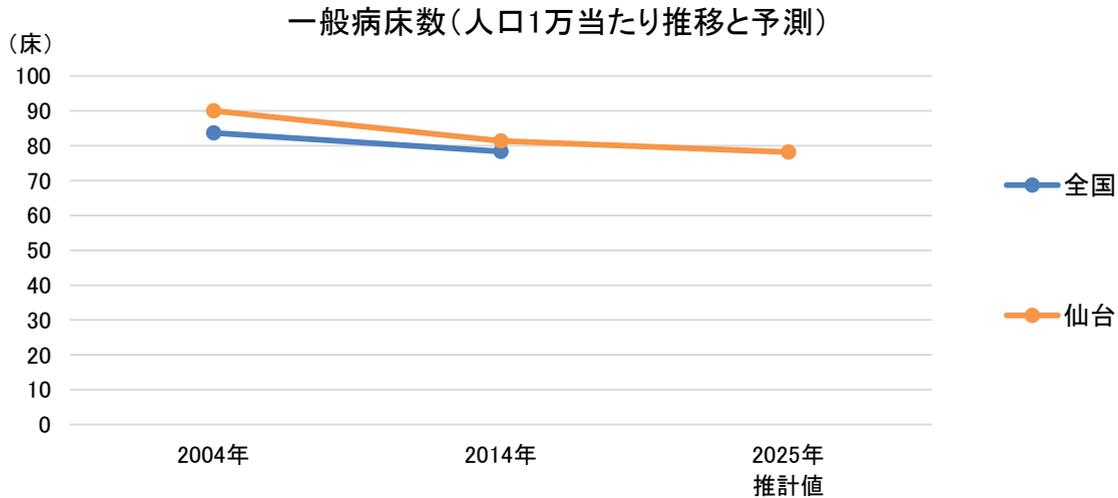
2004年の総病床数が18708床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に17854床(人口1万人当たり117(全国平均132)偏差値47)と、854床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3648人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に4173人(人口10万人当たり273人(全国平均245人)偏差値53)と、525人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



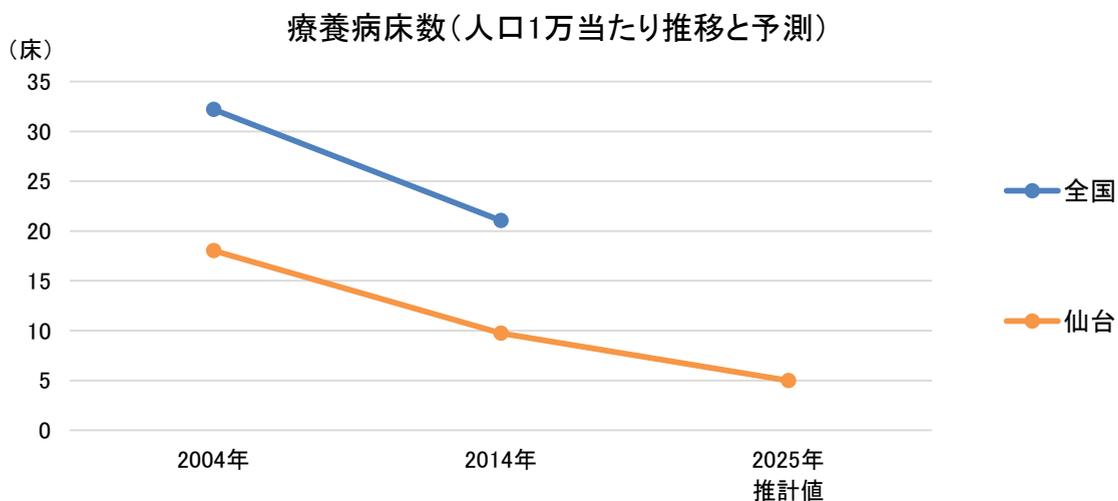
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が13174床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に12437床(人口1万人当たり81(全国平均78)偏差値51)と、737床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11626床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



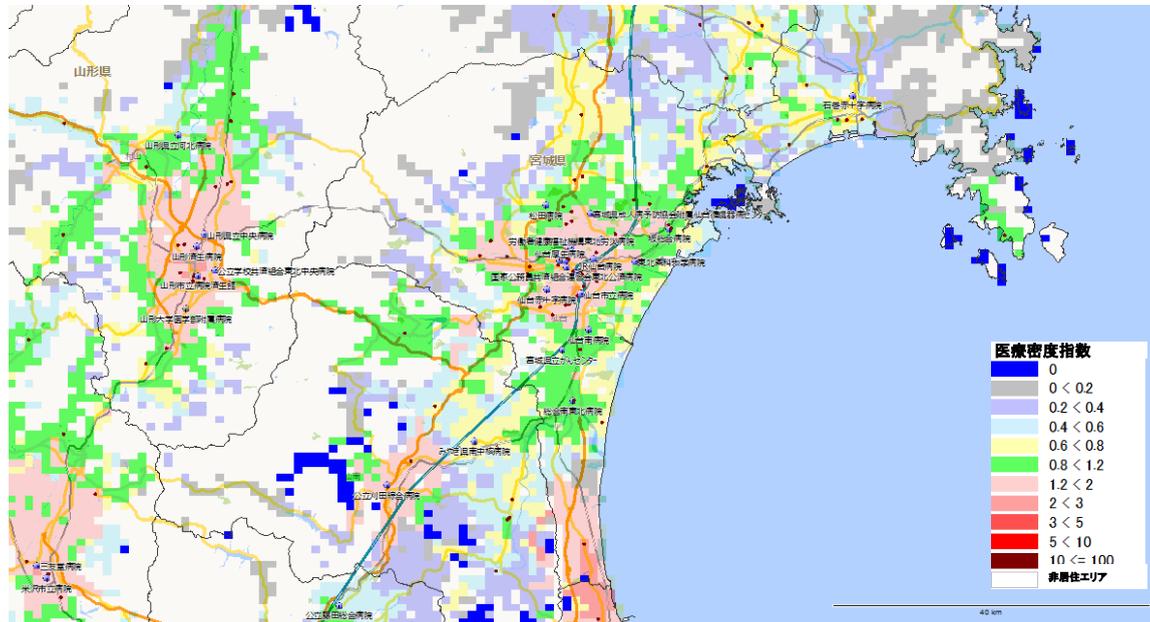
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1927床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に1575床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値40)と、352床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1188床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



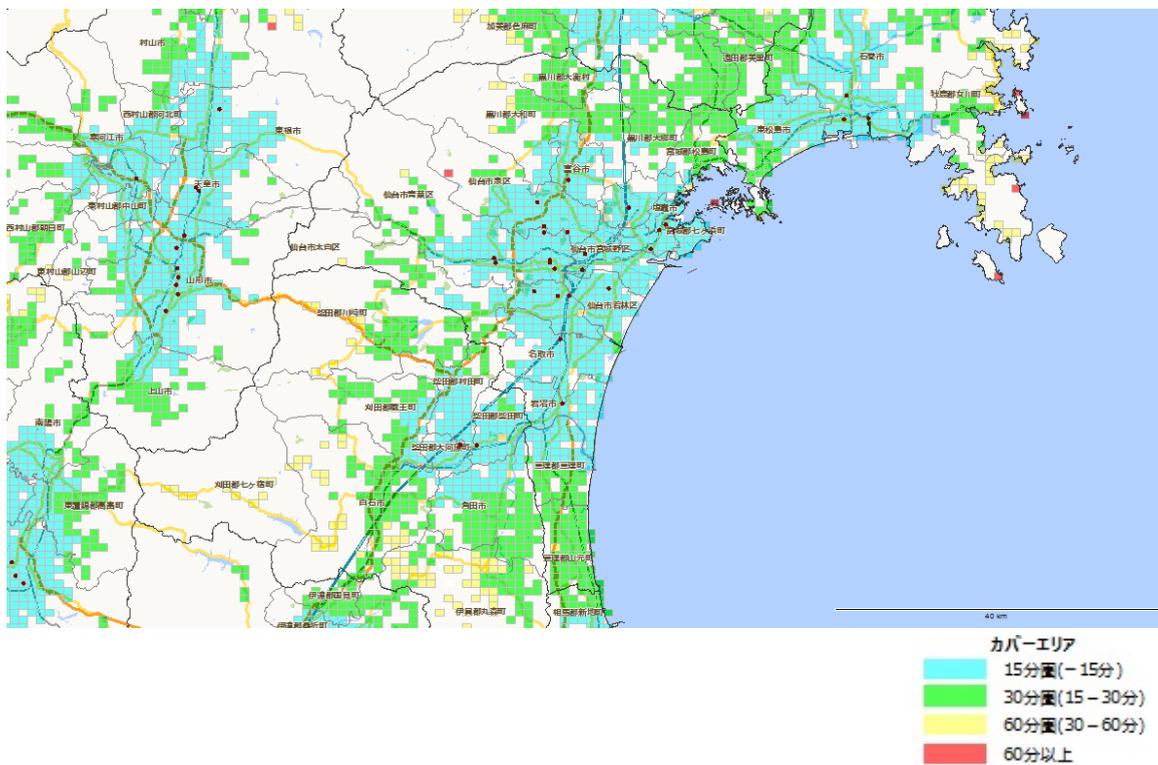
(仙台医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表4-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

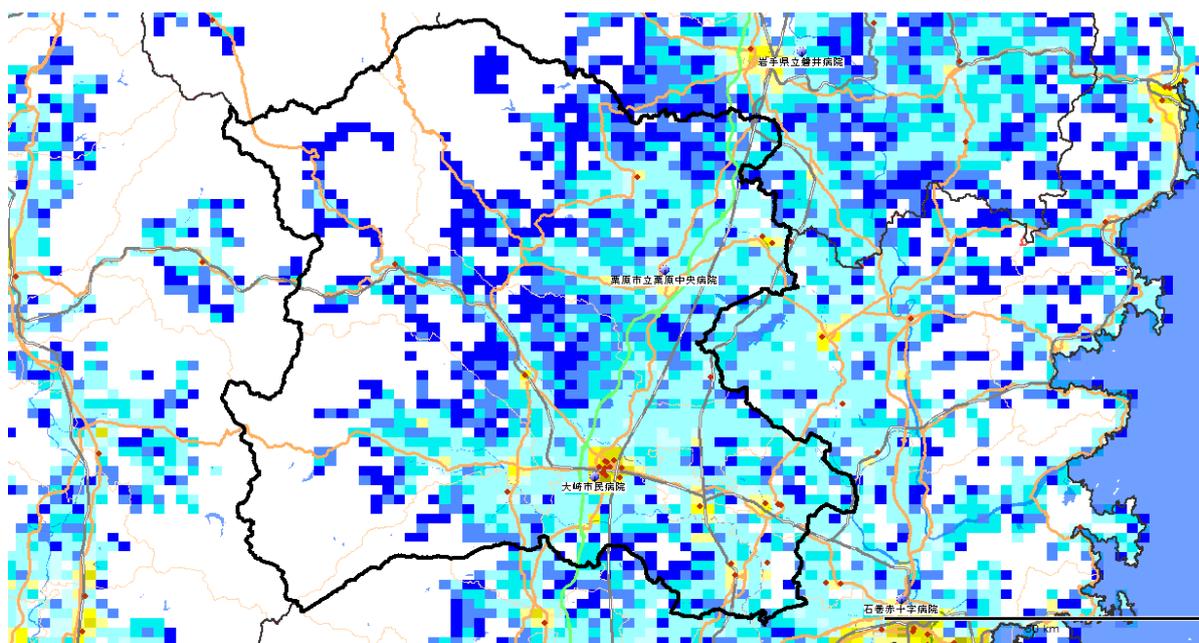
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



4-3. おおさき くりはら 大崎・栗原医療圏

構成市区町村⁹ [栗原市](#) [大崎市](#) [色麻町](#) [加美町](#)
[涌谷町](#) [美里町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(大崎・栗原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大崎・栗原(栗原市)は、総人口約276千人(2015年)、面積2329km²、人口密度は118人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 大崎・栗原の総人口は2025年に242千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に197千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて48千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年には49千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大崎・栗原の一人当たり医療費(国保)は349千円(偏差値51)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大崎・栗原の一人当たり急性期医療密度指数²は0.54、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.9で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数44、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。大崎・栗原には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大崎市民病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大崎・栗原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4064人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2751床(偏差値47)、高齢者住宅等が1313床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3657人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム52、グループホーム54、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、440人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(大崎・栗原医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大崎・栗原医療圏の総人口は、2005年298546人が、2015年に275831人と8%減少し、2025年の人口が242465人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

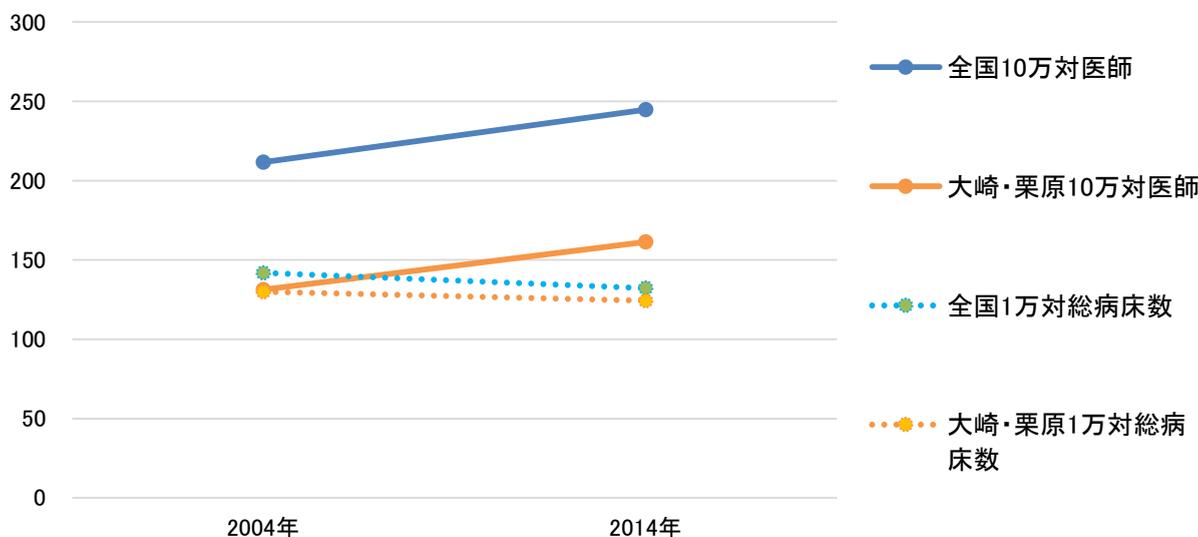
2004年の病院数が27(人口10万人当たり9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に26(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が169(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に163(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が3879床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に3428床(人口1万人当たり124(全国平均132)偏差値49)と、451床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

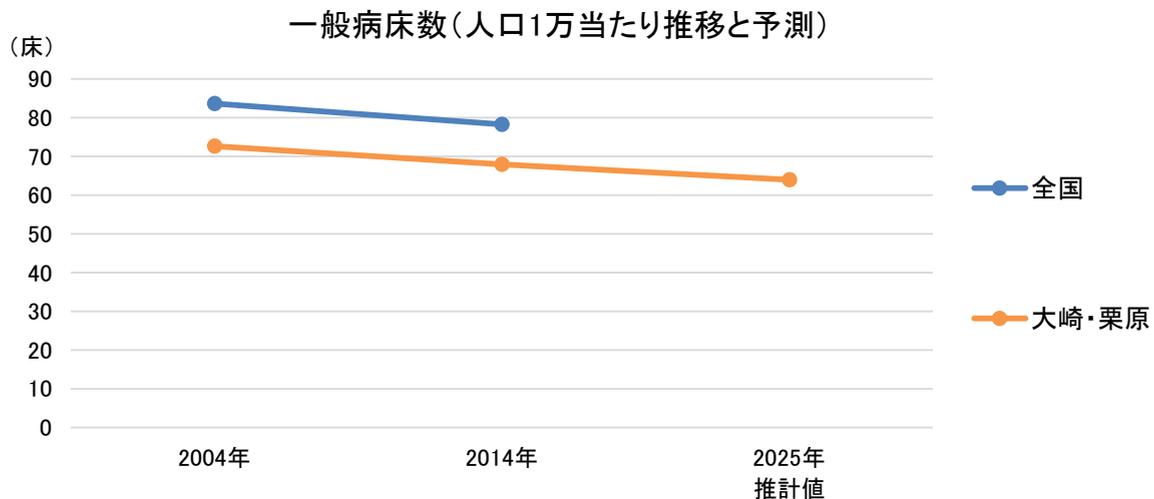
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が392人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に445人(人口10万人当たり161人(全国平均245人)偏差値41)と、53人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



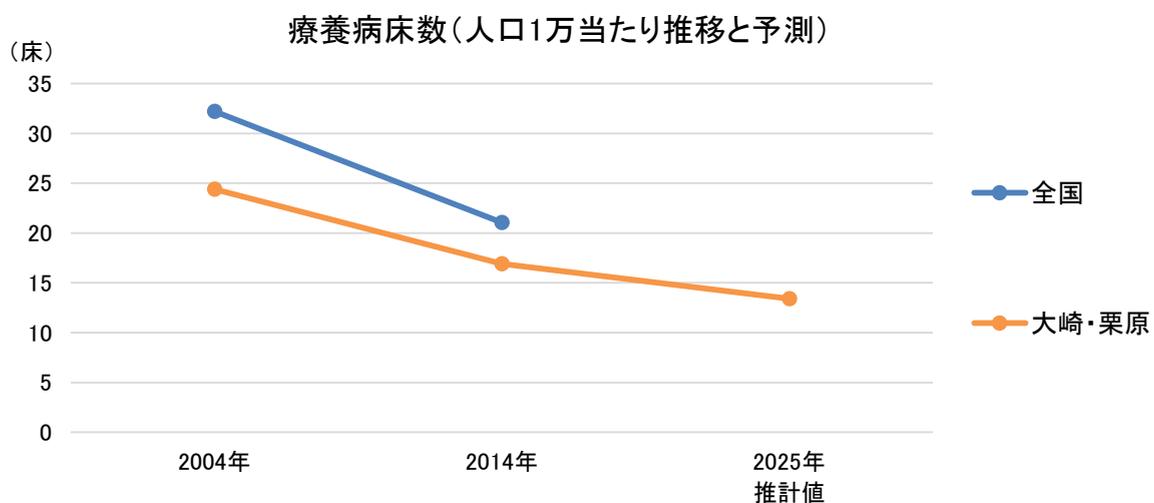
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2168床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に1874床(人口1万人当たり68(全国平均78)偏差値46)と、294床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1551床(2025年の推計人口1万人当たり64)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が939床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に798床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、141床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には643床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



(石巻・登米・気仙沼医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 石巻・登米・気仙沼(石巻市)は、総人口約352千人(2015年)、面積1753km²、人口密度は201人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 石巻・登米・気仙沼の総人口は2025年に321千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に257千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の58千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には64千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 石巻・登米・気仙沼の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値53)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 石巻・登米・気仙沼の一人当たり急性期医療密度指数²は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.56で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数38、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。石巻・登米・気仙沼には、年間全身麻酔件数が2000例以上の石巻赤十字病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 石巻・登米・気仙沼の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4804人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3497床(偏差値49)、高齢者住宅等が1307床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4296人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム47、グループホーム51、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、455人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(石巻・登米・気仙沼医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

石巻・登米・気仙沼医療圏の総人口は、2005年407254人が、2015年に352368人と13%減少し、2025年の人口が320534人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

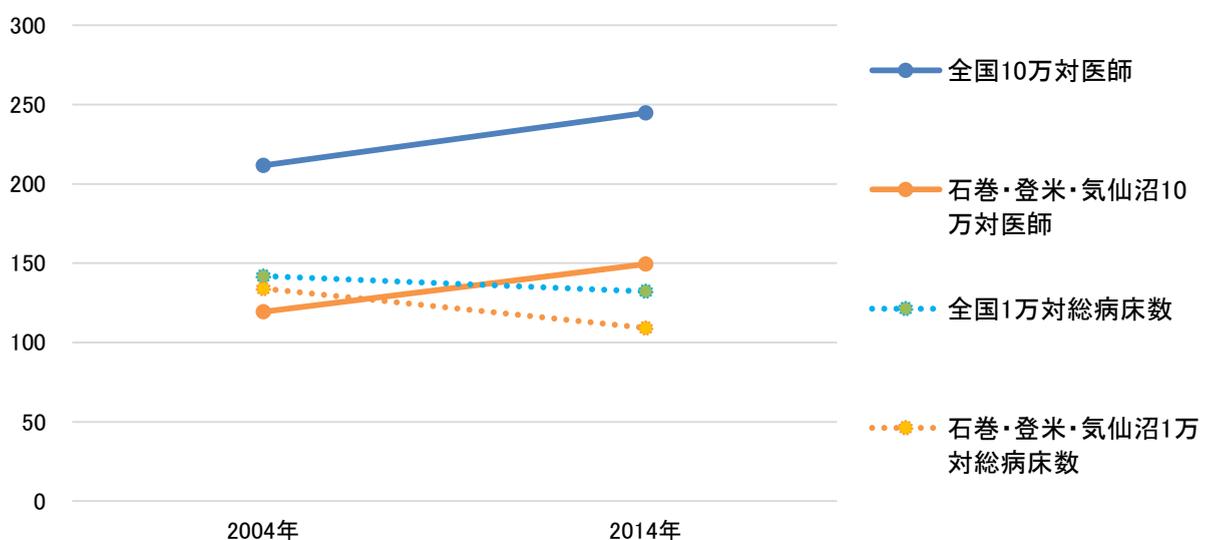
2004年の病院数が27(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に21(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が215(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に212(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が5457床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に3846床(人口1万人当たり109(全国平均132)偏差値46)と、1611床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

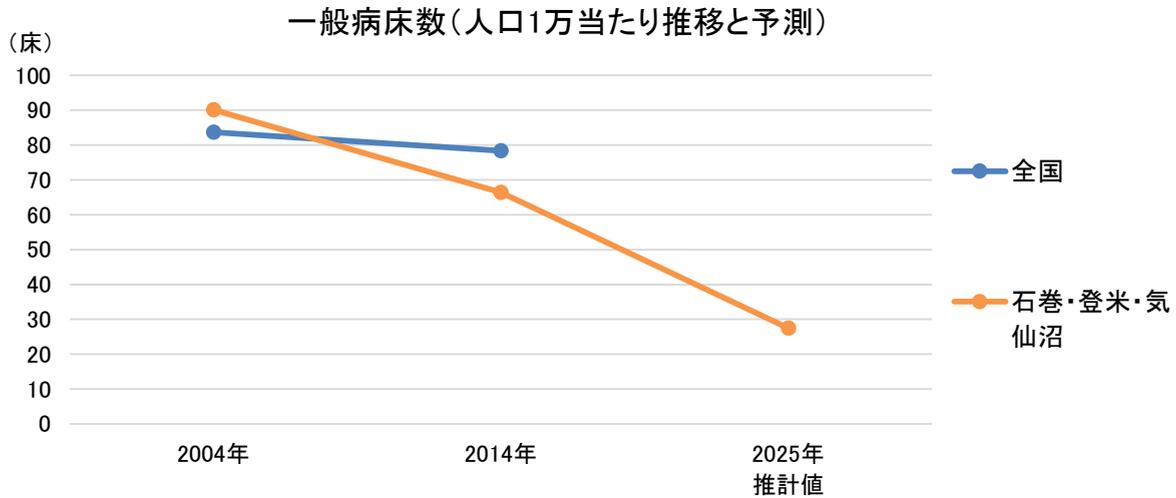
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が486人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に527人(人口10万人当たり150人(全国平均245人)偏差値40)と、41人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



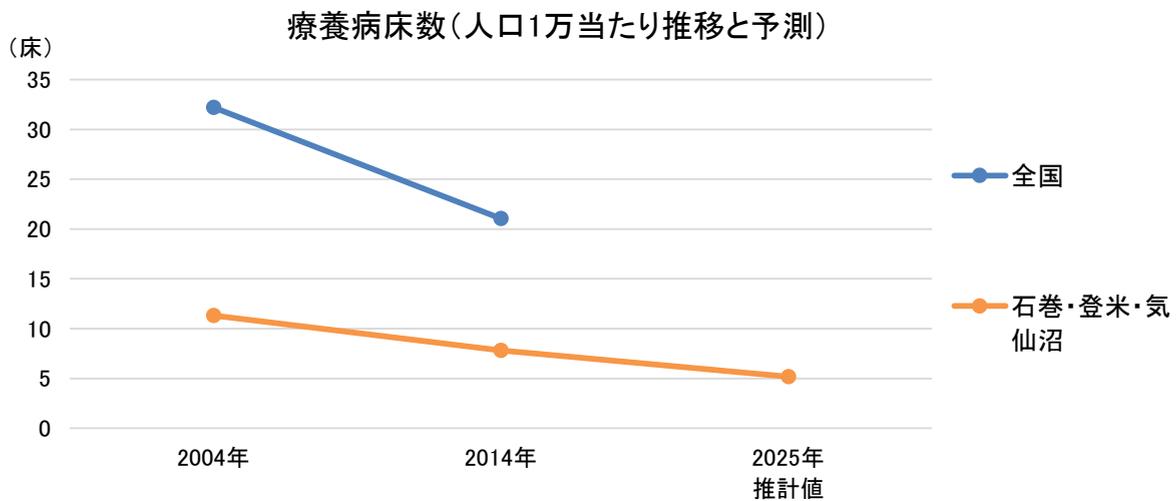
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3668床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に2341床(人口1万人当たり66(全国平均78)偏差値46)と、1327床の減少、率にして36%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には881床(2025年の推計人口1万人当たり27)になることが予想される。



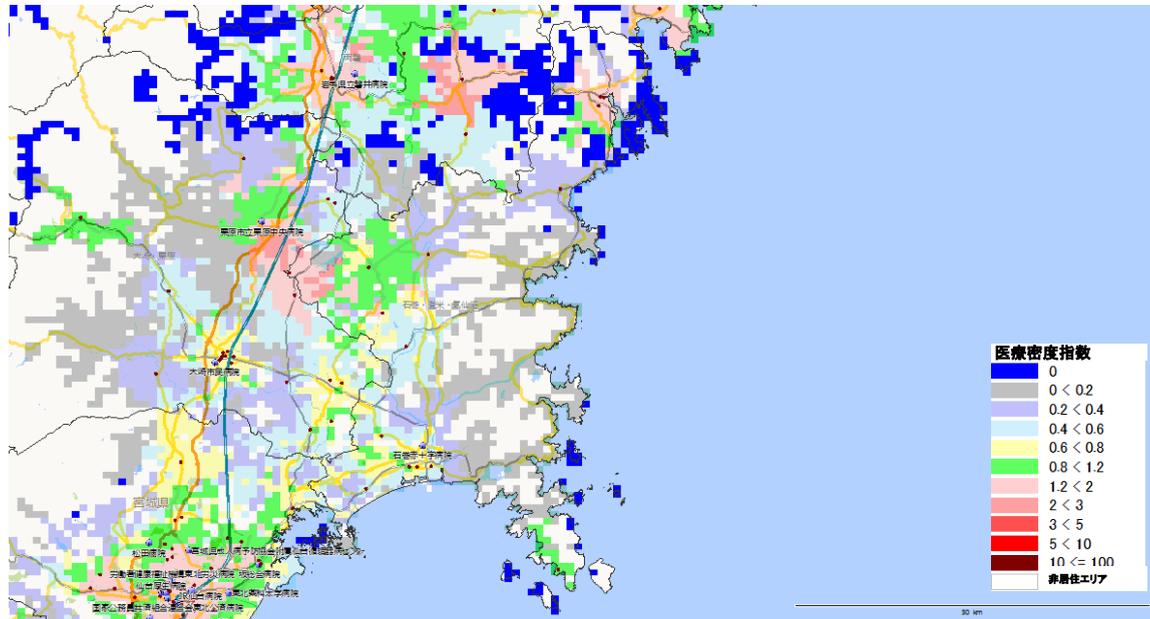
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が552床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に451床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、101床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には340床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



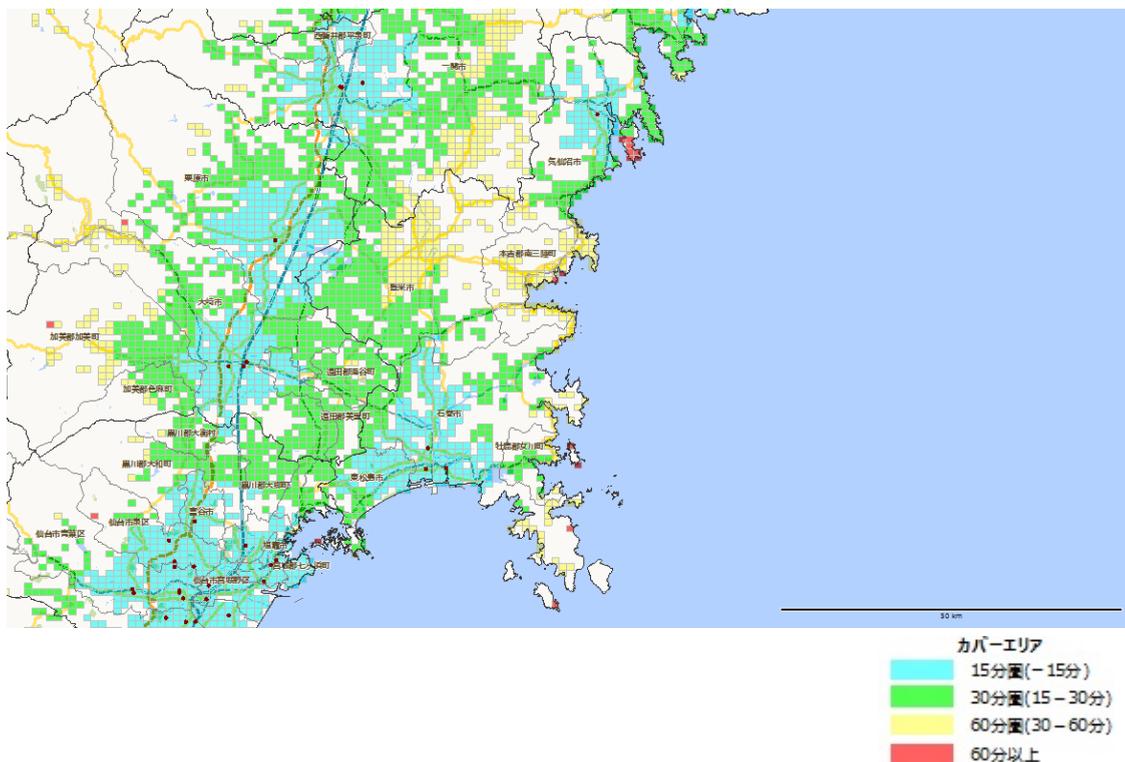
(石巻・登米・気仙沼医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表4-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



4.宮城県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。